

4. 在宅医療について

問14 在宅医療の関心度

問14 あなたは、在宅医療に関心がありますか？あてはまるものを1つお選びください。

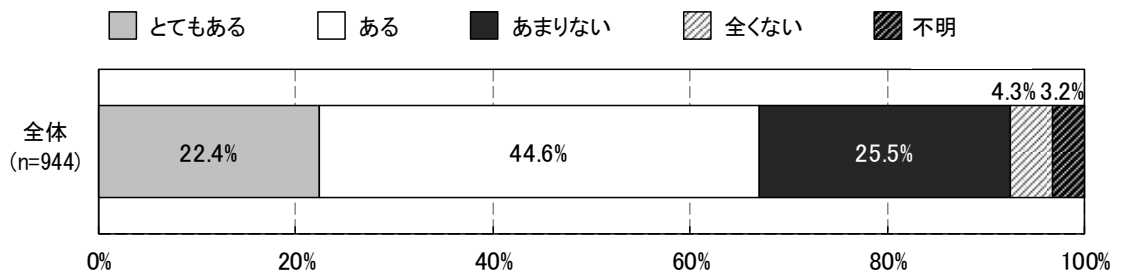
1. とてもある
2. ある
3. あまりない
4. 全くない

在宅医療への関心について、「とてもある」(22.4%)と「ある」(44.6%)をあわせた67.0%が関心を持っており、「あまりない」(25.5%)と「全くない」(4.3%)をあわせた29.8%が関心を持っていない結果となった。

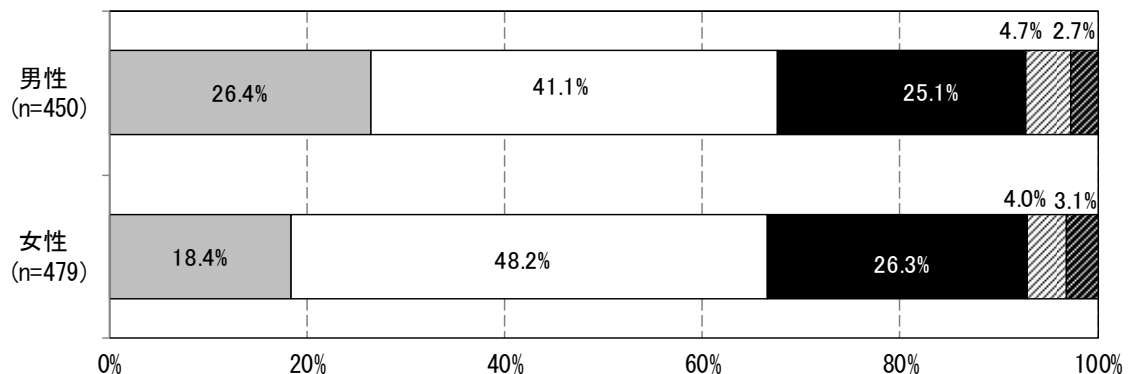
男女別にみると、関心を持っている割合は「男性」が67.5%、「女性」では66.6%となり、大きな違いはなかった。

年代別にみると、関心を持っている割合が最も高いのが「80歳以上」で74.6%となり、最も低い年代は「20～29歳」で42.1%となった。また、50歳以上では関心を持っている割合が70%を上回っている。

<全体>

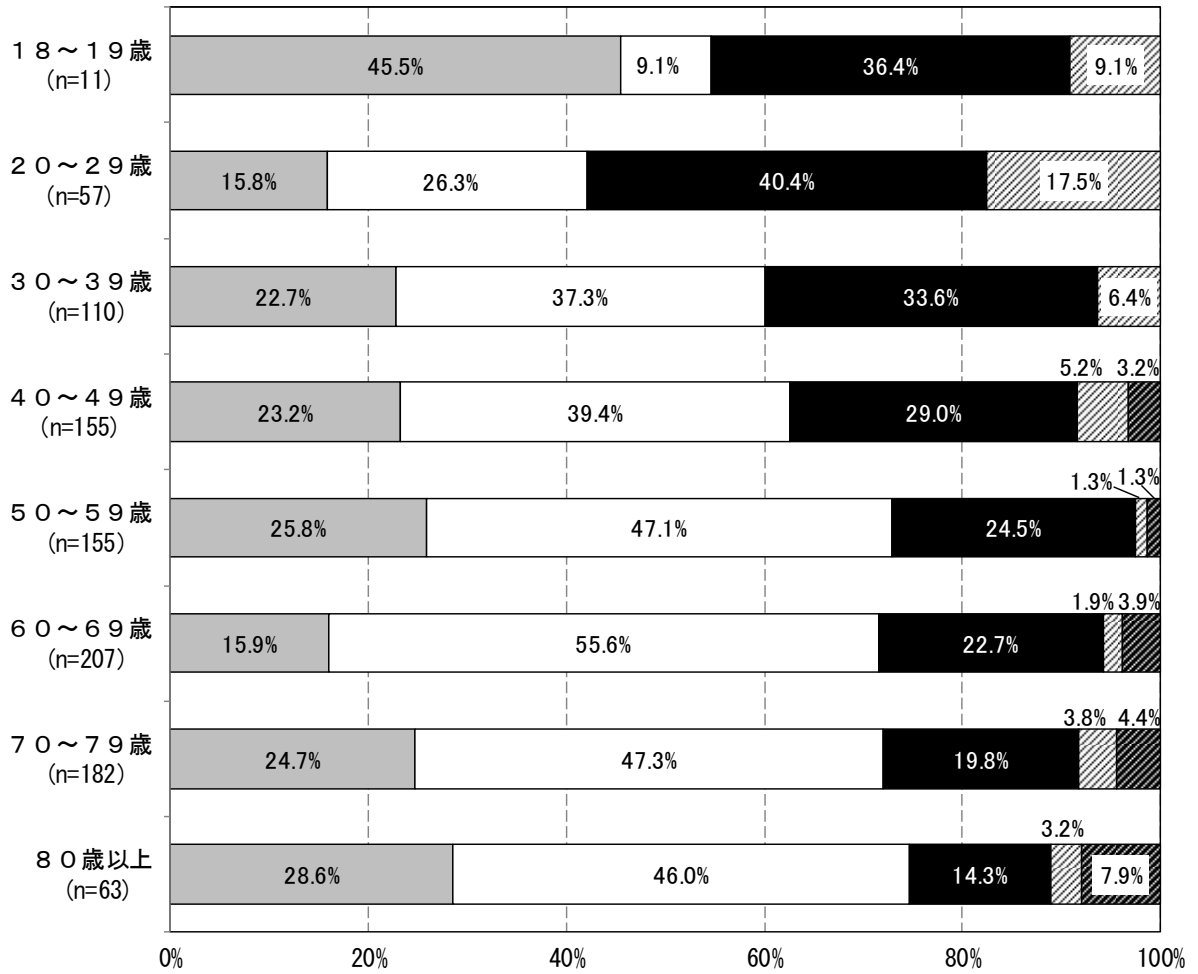


<男女別>



<年代別>

とてもある
 ある
 あまりない
 全くない
 不明



問15 医療や介護が将来必要になったときに主に過ごしたい場所

問15 あなたは、医療や介護が将来必要になったとき、主にどこで過ごしたいですか？あてはまるものを1つお選びください。

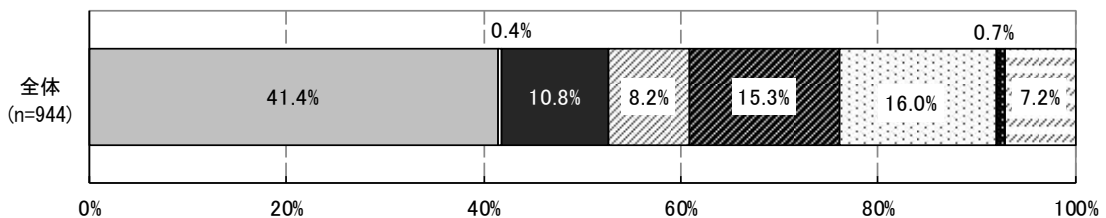
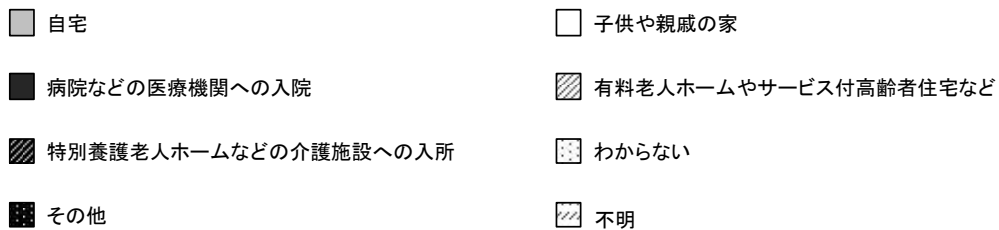
- 1. 自宅
- 2. 子供や親戚の家
- 3. 病院などの医療機関への入院
- 4. 有料老人ホームやサービス付高齢者住宅など
- 5. 特別養護老人ホームなどの介護施設への入所
- 6. わからない
- 7. その他

医療や介護が将来必要になったとき主に過ごしたい場所で最も多かったのが「自宅」でその割合は41.4%であった。次いで「わからない」が16.0%、「特別養護老人ホームなどの介護施設への入所」が15.3%と続いた。

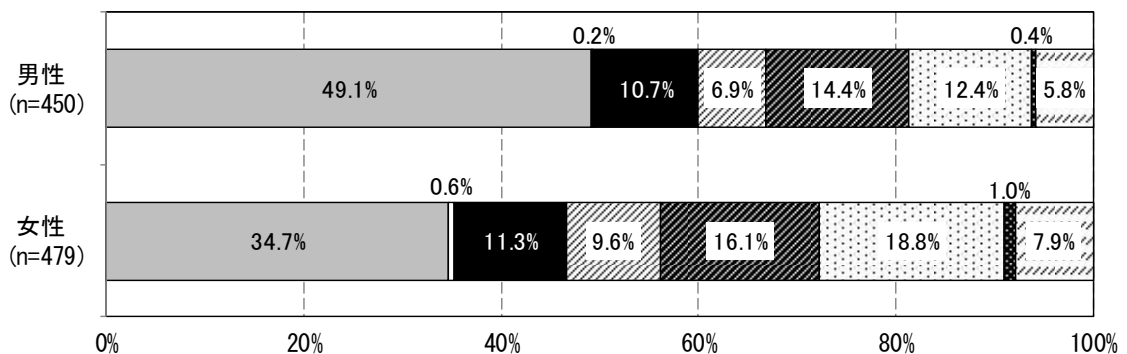
男女別で見ると、男性が「自宅」と回答された割合は49.1%であったが、女性は34.7%となった。また、「特別養護老人ホームなどの介護施設への入所」で過ごしたいと考える男性は14.4%であったが、女性は16.1%となった。

年代別では、「自宅」と回答された割合は、「30～39歳」から「70～79歳」まで減少する傾向が見られた一方、「病院などの医療機関への入院」を回答された割合は増加する傾向が見られた。

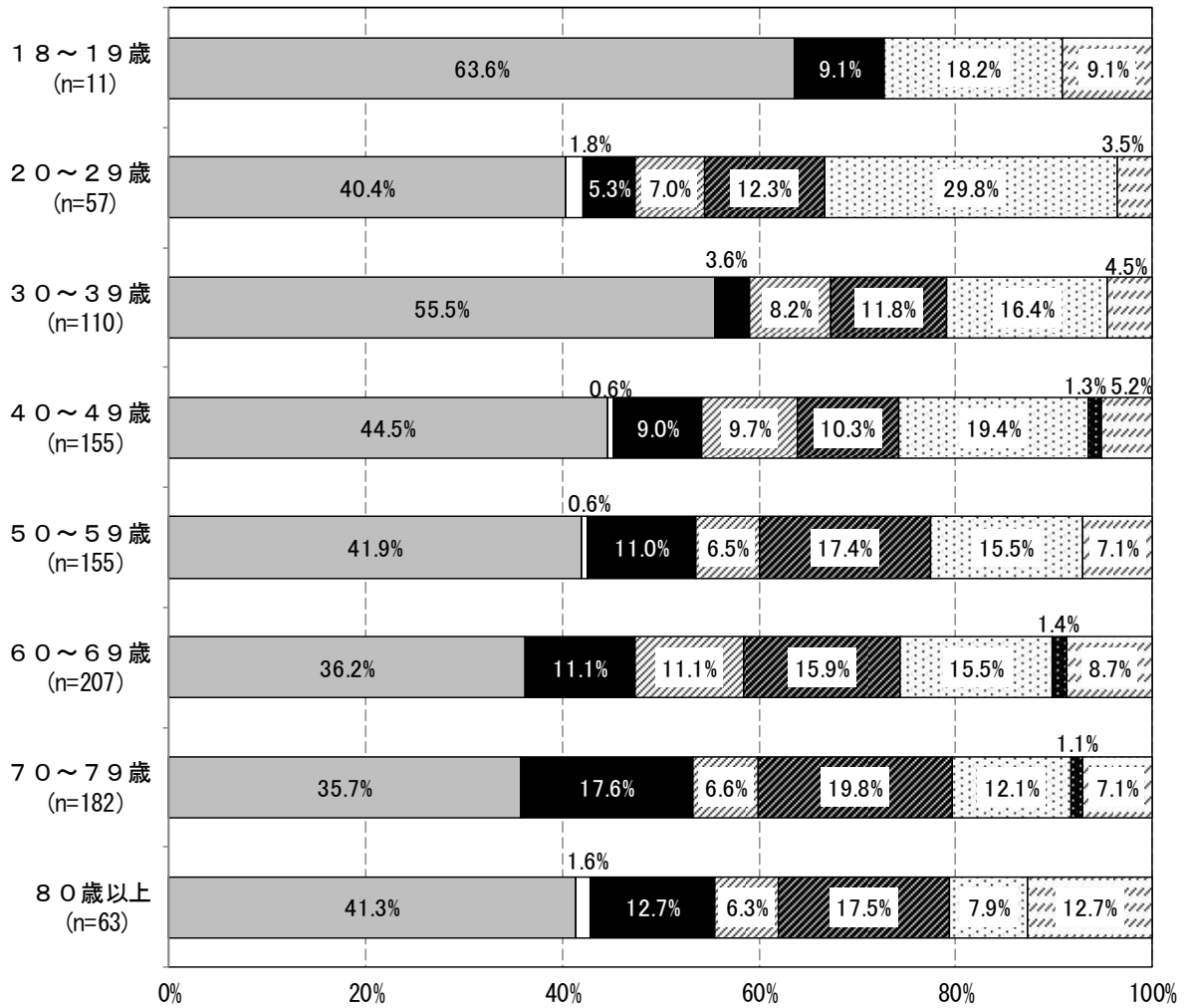
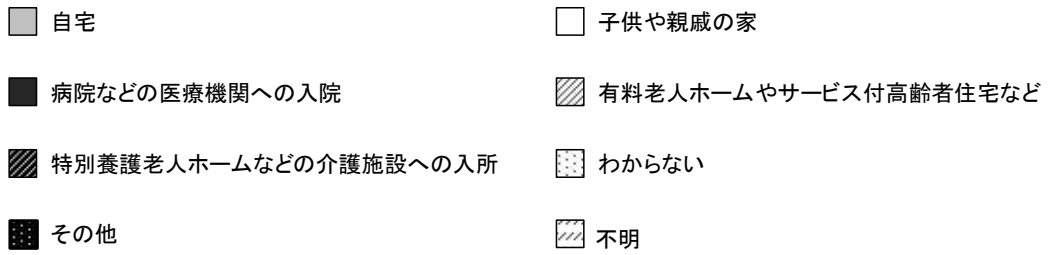
<全体>



<男女別>



<年代別>



その他：「状況による」、「家族に迷惑かけない施設」など

問 1 6 終末期における自宅療養について

問 1 6 あなたは、終末期において自宅で最期まで療養できると思いますか？あてはまるものを1つお選びください。

1. できると思う
2. 困難である
3. わからない

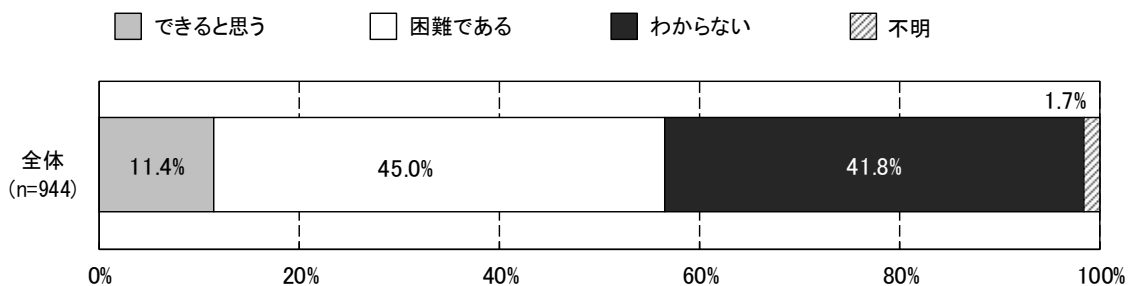
※終末期とは、老衰、病気等の進行により死に至ることを回避する方法がなく、予想される余命が3～6ヶ月以内のことをいいます。

終末期における自宅療養について、「困難である」と回答された方が最も多く、割合は45.0%であった。次いで「わからない」が41.8%、「できると思う」が11.4%と続いた。

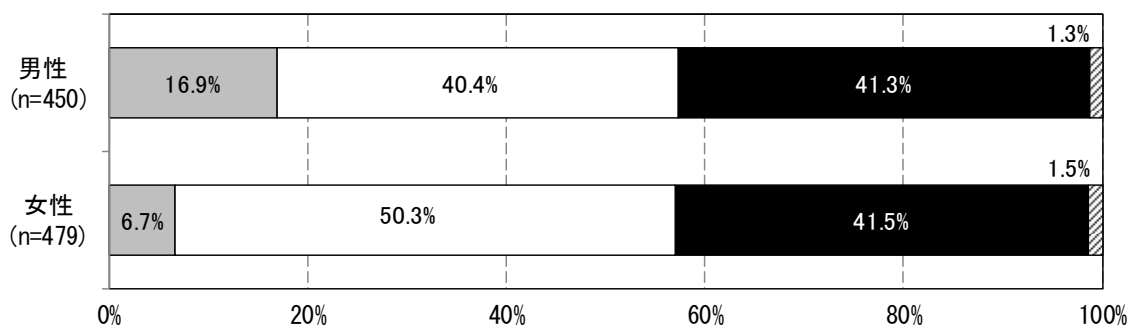
男女別で見ると、「できると思う」と回答された方は、男性では16.9%、女性では6.7%となった。

年代別で見ると、18～39歳の各年代にて「できると思う」と回答された方の割合は20%を超えたが、50～79歳の各年代では10%以下となった。「困難である」と回答された方の割合が最も高かった年代は「50～59歳」で54.2%、最も低かった年代は「20～29歳」で26.3%となった。

<全体>

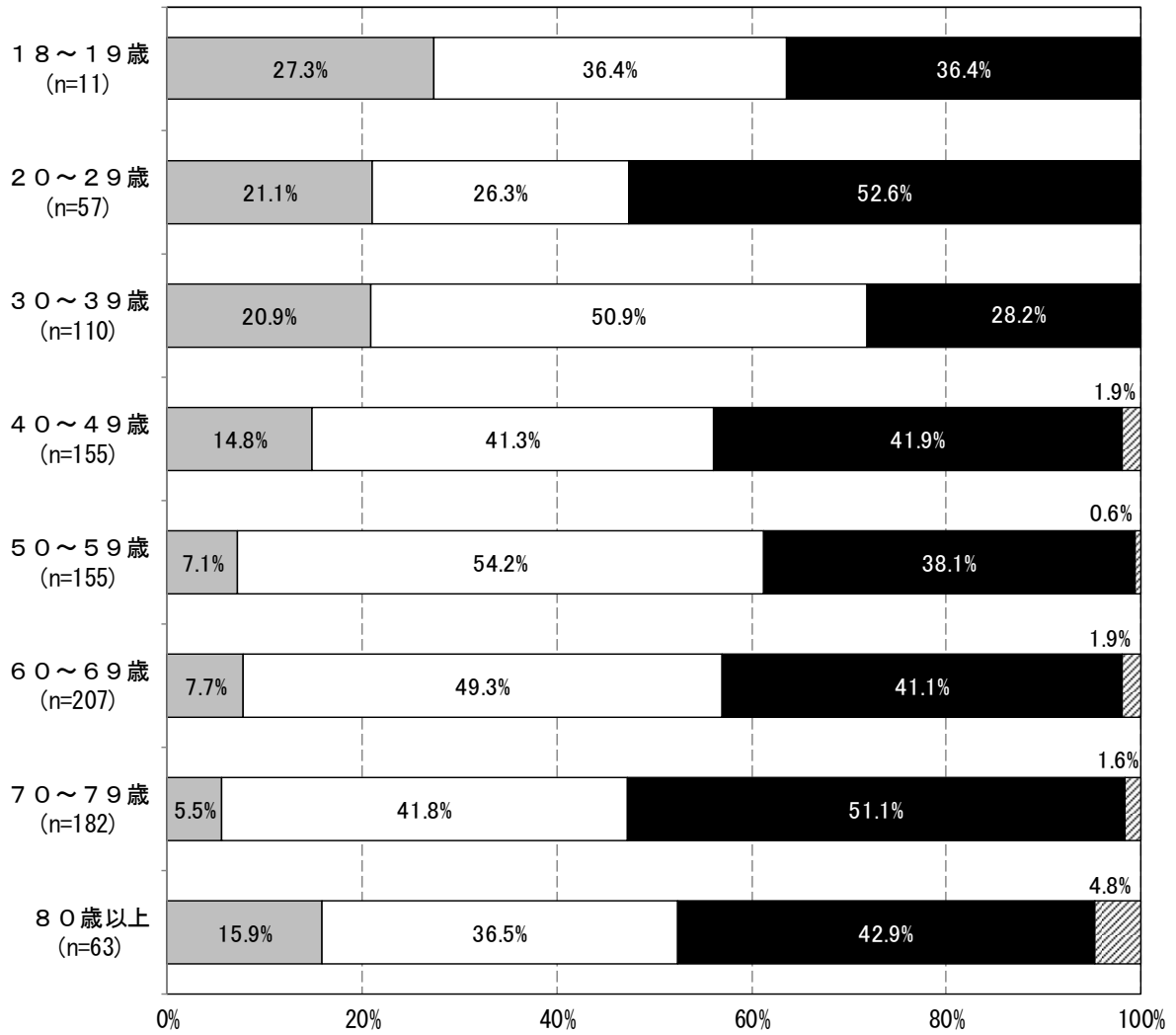


<男女別>



<年代別>

できると思う
 困難である
 わからない
 不明



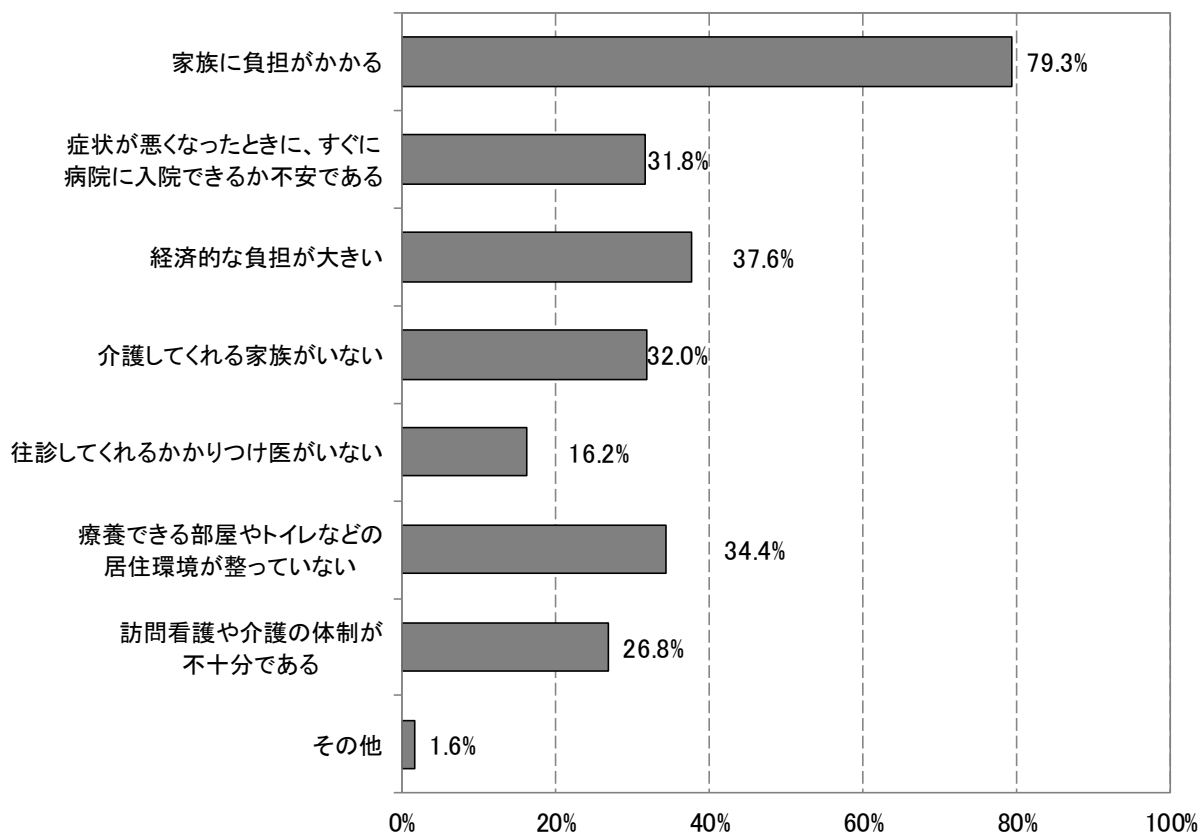
問16-1 終末期における自宅療養が困難な理由

問16-1 問16で「2. 困難である」と回答された方のみお答えください。困難である理由は何ですか？あてはまるものを全てお選びください。

1. 家族に負担がかかる
2. 症状が悪くなったときに、すぐに病院に入院できるか不安である
3. 経済的な負担が大きい
4. 介護してくれる家族がいない
5. 往診してくれるかかりつけ医がいない
6. 療養できる部屋やトイレなどの居住環境が整っていない
7. 訪問看護や介護の体制が不十分である
8. その他

終末期における自宅療養が困難な理由について、最も多かったのが「家族に負担がかかる」で79.3%となった。次いで、「経済的な負担が大きい」が37.6%、「療養できる部屋やトイレなどの居住環境が整っていない」が34.4%と続いた。

n=425



その他：「災害に対する不安」、「公的援助が複雑で理解できない」など

問 17 終末期の医療について家族との話し合いの状況について

問 17 あなたは、ご自身やご家族が終末期の状況において、受けたい医療や受けたくない医療について、日頃からご家族と話し合っていますか？あてはまるものを1つお選びください。

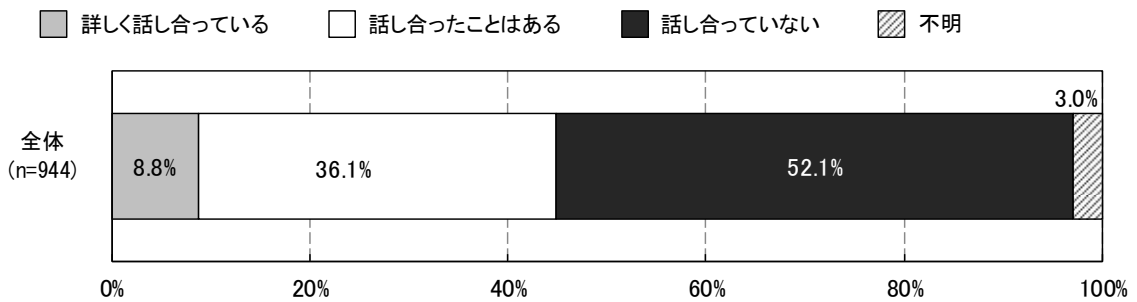
1. 詳しく話し合っている
2. 話し合ったことはある
3. 話し合っていない

全体では、「話し合っていない」と回答された方が最も多く、割合は52.1%だった。次いで、「話し合ったことはある」が36.1%、「詳しく話し合っている」が8.8%の順となった。

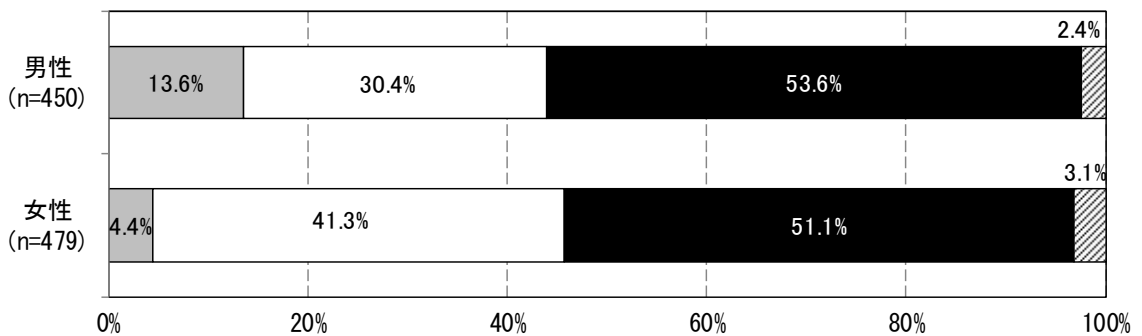
男女別では、男女ともに「話し合っていない」と回答された方が最も多く、「男性」は53.6%、「女性」は51.1%であった。

年代別では、「話し合っていない」と回答された方の割合が最も高かったのが「18～19歳」で72.7%、「80歳以上」は最も低く44.4%となり、60歳以上の割合が低めとなっている。

<全体>



<男女別>



<年代別>

